

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／その他資産（ハイブリッド証券）	
信託期間	5年間（2015年8月19日～2020年8月18日）	
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行いません。	
主要投資対象	為替ヘッジあり	イ．ABグローバル・ハイブリッド証券ファンド（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）（以下「ハイブリッド証券F（為替ヘッジあり）」）といえます。）の受益証券 ロ．ダイワ・マネーストック・マザーファンドの受益証券
	為替ヘッジなし	イ．ABグローバル・ハイブリッド証券ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）（以下「ハイブリッド証券F（為替ヘッジなし）」）といえます。）の受益証券 ロ．ダイワ・マネーストック・マザーファンドの受益証券
	ダイワ・マネーストック・マザーファンド	円建ての債券
運用方法	為替ヘッジあり	①主として、ハイブリッド証券F（為替ヘッジあり）の受益証券を通じて、世界の金融機関（関連会社等を含みます。）が発行するハイブリッド証券（劣後債、優先証券）（※）に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行いません。 ※C o C o条項が付帯されているものを含みます。 ②当ファンドは、ハイブリッド証券F（為替ヘッジあり）とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態、ハイブリッド証券F（為替ヘッジあり）への投資割合を高位に維持することを基本とします。 ③ハイブリッド証券F（為替ヘッジあり）では、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行いません。
	為替ヘッジなし	①主として、ハイブリッド証券F（為替ヘッジなし）の受益証券を通じて、世界の金融機関（関連会社等を含みます。）が発行するハイブリッド証券（劣後債、優先証券）（※）に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行いません。 ※C o C o条項が付帯されているものを含みます。 ②当ファンドは、ハイブリッド証券F（為替ヘッジなし）とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態、ハイブリッド証券F（為替ヘッジなし）への投資割合を高位に維持することを基本とします。 ③ハイブリッド証券F（為替ヘッジなし）では、為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行いません。
マザーファンドの運用方法	①円建ての債券を中心に投資し、安定した収益の確保をめざして安定運用を行いません。 ②円建資産への投資にあたっては、残存期間が1年未満、取得時においてA-2格相当以上の債券およびコモディティ・ペーパーに投資することを基本とします。	
組入制限	投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。 マザーファンドの純資産総額の10%以下 株式組入上限比率	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売差益（評価益を含みます。）等とし、原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。	

ダイワ新グローバル・
ハイブリッド証券ファンド
（為替ヘッジあり／為替ヘッジなし）

運用報告書（全体版）
第1期
（決算日 2016年2月18日）

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド（為替ヘッジあり／為替ヘッジなし）」は、このたび、第1期の決算を行いました。

ここに、期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

お問い合わせ先（コールセンター）

TEL 0120-106212

（営業日の9：00～17：00）

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

<5668>

<5669>

ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド（為替ヘッジあり）

★ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド（為替ヘッジあり）

設定以来の運用実績

決算期	基準価額			公社債 組入比率	債券 組入比率	信託 証券比率	純資産 総額
	(分配落)	税 分	込 配				
1期末（2016年2月18日）	円 9,541		円 130		% 0.0	% 99.1	百万円 10,832

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

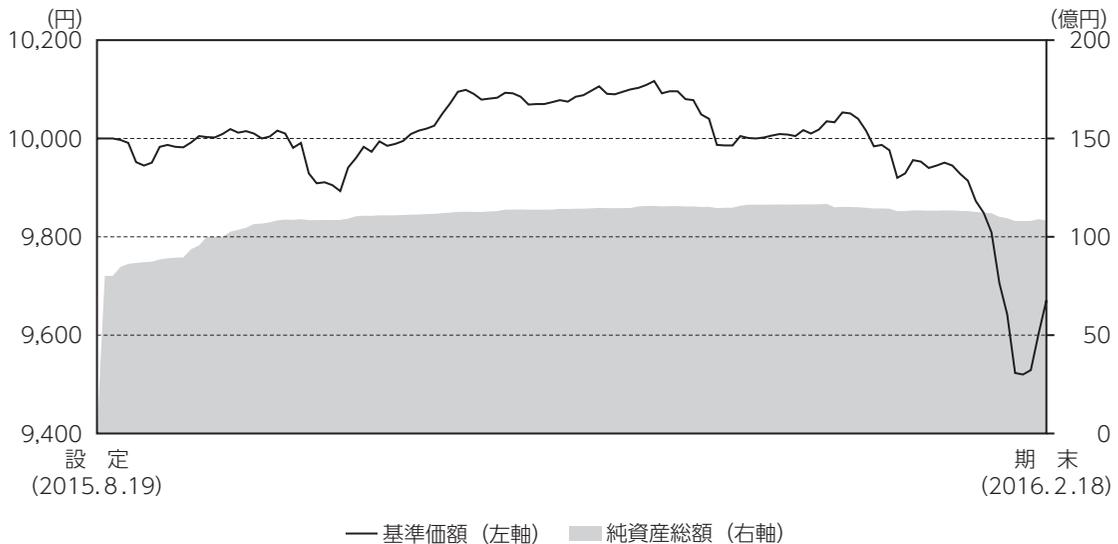
(注2) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注3) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注4) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

《運用経過》

基準価額等の推移について



（注）期末の基準価額は分配金込みです。

■基準価額・騰落率

設定時：10,000円

期 末：9,541円（分配金130円）

騰落率：△3.3%（分配金込み）

■基準価額の主な変動要因

主として、ABグローバル・ハイブリッド証券ファンド（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）（以下「ハイブリッド証券F（為替ヘッジあり）」といいます。）の受益証券への投資を通じて、世界の金融機関が発行するハイブリッド証券に投資した結果、利息収入は基準価額にプラスに寄与しましたが、ハイブリッド証券の価格下落等がマイナス要因となり、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド（為替ヘッジあり）

年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 率	投 資 組	資 益 入	信 証 比	託 券 率
	騰 落 率	率					
(設定) 2015年 8月19日	円 10,000	% -		% -			% -
8 月末	9,987	△0.1		0.0			98.0
9 月末	9,909	△0.9		0.0			99.3
10月末	10,079	0.8		0.0			99.6
11月末	10,100	1.0		0.0			99.8
12月末	10,005	0.1		0.0			99.9
2016年 1 月末	9,951	△0.5		0.0			100.0
(期末) 2016年 2月18日	9,671	△3.3		0.0			99.1

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は設定比。

投資環境について

○ハイブリッド証券市況

ハイブリッド証券市況は軟調に推移しました。2015年9月中旬以降、世界的な景気減速懸念などを背景にリスク資産全般が軟調に推移する中、資本性の高いC o C o債（※）をはじめとしてハイブリッド証券は軟調に推移しました。その後、市場のリスク回避姿勢が和らぐと、ハイブリッド証券市場も堅調に推移しました。しかし12月に入ると、原油価格の下落や中国経済への懸念が再び台頭したことで企業への信用リスク懸念が高まり、C o C o債や劣後債を中心に軟調に推移しました。その後年末にかけて持ち直しましたが、2016年に入ってから市場心理は改善せず、特に2月以降は欧州の一部の金融機関について信用リスク懸念が台頭したことで、ハイブリッド証券もC o C o債を中心に大きく価格が下落しました。

※C o C o債とは、特定の条件下において強制的に投資家が損失を負担する条項（C o C o条項）が付帯されたハイブリッド証券（劣後債、優先証券）をいいます。

ポートフォリオについて

○当ファンド

当ファンドは、ハイブリッド証券F（為替ヘッジあり）とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズであり、期を通じてハイブリッド証券F（為替ヘッジあり）への投資割合を高位に維持しました。

○ハイブリッド証券F（為替ヘッジあり）

世界の金融機関（関連会社等を含む）が発行するハイブリッド証券に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしました。ポートフォリオはG-SIFIsを中心に、利回り水準や流動性、発行体の信用力などを考慮して銘柄選定を行ないました。ハイブリッド証券種別では、米国優先証券やC o C o債を中心に投資を行ないました。国・地域別では規制強化により財務改善がより進んでいる米国の金融機関の比率を高めとしました。また、為替変動リスクの低減を図るため為替ヘッジを行ないました。

○ダイワ・マネースtock・マザーファンド

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行ないました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当期の1万口当り分配金（税込み）は130円といたしました。

収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2015年8月19日 ～2016年2月18日	
当期分配金（税込み）	（円）	130
対基準価額比率	（％）	1.34
当期の収益	（円）	130
当期の収益以外	（円）	—
翌期繰越分配対象額	（円）	0

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	130.12円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00
(c) 収益調整金	0.67
(d) 分配準備積立金	0.00
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	130.80
(f) 分配金	130.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	0.80

（注）下線を付した該当項目から分配金を計上しています。

《今後の運用方針》

○当ファンド

主として、ハイブリッド証券F（為替ヘッジあり）への投資割合を高位に保つことによって、世界の金融機関（関連会社等を含む）が発行するハイブリッド証券等からの収益を享受することをめざします。

○ハイブリッド証券F（為替ヘッジあり）

世界の金融機関（関連会社等を含む）が発行するハイブリッド証券等に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。また、為替変動リスクの低減を図るため為替ヘッジを行ないます。

○ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

1 万口当りの費用の明細

項 目	当期		項 目 の 概 要
	(2015.8.19~2016.2.18)		
	金 額	比 率	
信託報酬	64円	0.638%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は9,987円です。
（投信会社）	(22)	(0.217)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
（販売会社）	(41)	(0.407)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託銀行）	(1)	(0.014)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	0	0.004	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（監査費用）	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	64	0.642	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド（為替ヘッジあり）

■売買および取引の状況

(1) 投資信託受益証券

(2015年8月19日から2016年2月18日まで)

		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
		千口	千円	千口	千円
国内	ABグローバル・ハイブリッド証券ファンド(為替ヘッジあり)(適格機関投資家専用)	11,729,101.382	11,729,543	490,882.416	474,000

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託受益証券の設定、解約状況

(2015年8月19日から2016年2月18日まで)

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
	0	1	-	-

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

(1) 当ファンドにおける期中の利害関係人との取引状況

当期中における利害関係人との取引はありません。

(2) ダイワ・マネースtock・マザーファンドにおける期中の利害関係人との取引状況

(2015年8月19日から2016年2月18日まで)

決 算 期	当			期		
	買付額等 A	うち利害 関係人との 取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害 関係人との 取引状況D	D/C
公社債	百万円 53,765	百万円 8,560	% 15.9	百万円 2,822	百万円 -	% -
コール・ローン	1,758,682	-	-	-	-	-

(注) 平均保有割合0.0%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーフンドのマザーファンド所有口数の割合。

(3) 期中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当期中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期中における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファ ン ド 名	当 期 末		
	口 数	評 価 額	比 率
国内投資信託受益証券 ABグローバル・ハイブリッド証券ファンド (為替ヘッジあり)(適格機関投資家専用)	千口 11,238,218.966	千円 10,730,251	% 99.1

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	当 期 末	
	口 数	評 価 額
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	千口 0	千円 1

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2016年2月18日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 10,730,251	% 97.1
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	1	0.0
コール・ローン等、その他	325,034	2.9
投資信託財産総額	11,055,287	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2016年2月18日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	11,055,287,007円
コール・ローン等	325,034,538
投資信託受益証券(評価額)	10,730,251,468
ダイワ・マネーストック・マザーファンド(評価額)	1,001
(B) 負債	222,426,892
未払収益分配金	147,608,391
未払解約金	4,651,298
未払信託報酬	69,722,253
その他未払費用	444,950
(C) 純資産総額(A - B)	10,832,860,115
元本	11,354,491,675
次期繰越損益金	△ 521,631,560
(D) 受益権総口数	11,354,491,675口
1万口当り基準価額(C / D)	9,541円

* 設定時における元本額は8,014,571,959円、当期中における追加設定元本額は3,747,729,358円、同解約元本額は407,809,642円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は9,541円です。

* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は521,631,560円です。

■損益の状況

当期 自2015年8月19日 至2016年2月18日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	217,913,285円
受取配当金	217,857,574
受取利息	55,711
(B) 有価証券売買損益	△521,879,518
売買益	5,746,674
売買損	△527,626,192
(C) 信託報酬等	△ 70,167,203
(D) 当期損益金(A + B + C)	△374,133,436
(E) 追加信託差損益金	110,267
(配当等相当額)	(771,645)
(売買損益相当額)	(△ 661,378)
(F) 合計(D + E)	△374,023,169
(G) 収益分配金	△147,608,391
次期繰越損益金(F + G)	△521,631,560
追加信託差損益金	110,267
(配当等相当額)	(771,645)
(売買損益相当額)	(△ 661,378)
分配準備積立金	137,691
繰越損益金	△521,879,518

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程（総額）」の表を参照。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	147,746,082円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	771,645
(d) 分配準備積立金	0
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	148,517,727
(f) 分配金	147,608,391
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	909,336
(h) 受益権総口数	11,354,491,675口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ	
1 万 口 当 り 分 配 金	130円

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、2月18日現在の基準価額（1万口当り9,541円）に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

★ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド（為替ヘッジなし）

設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			公 社 債 率	投 資 信 託 純 資 産	組 入 比 率	受 益 入 証 券 率	組 入 証 券 率	総 額
	(分配落)	税 込 配 金	期 騰 落 中 率						
1 期末（2016年2月18日）	円 8,895	円 125	% △9.8	% 0.0	% 99.2				百万円 2,930

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

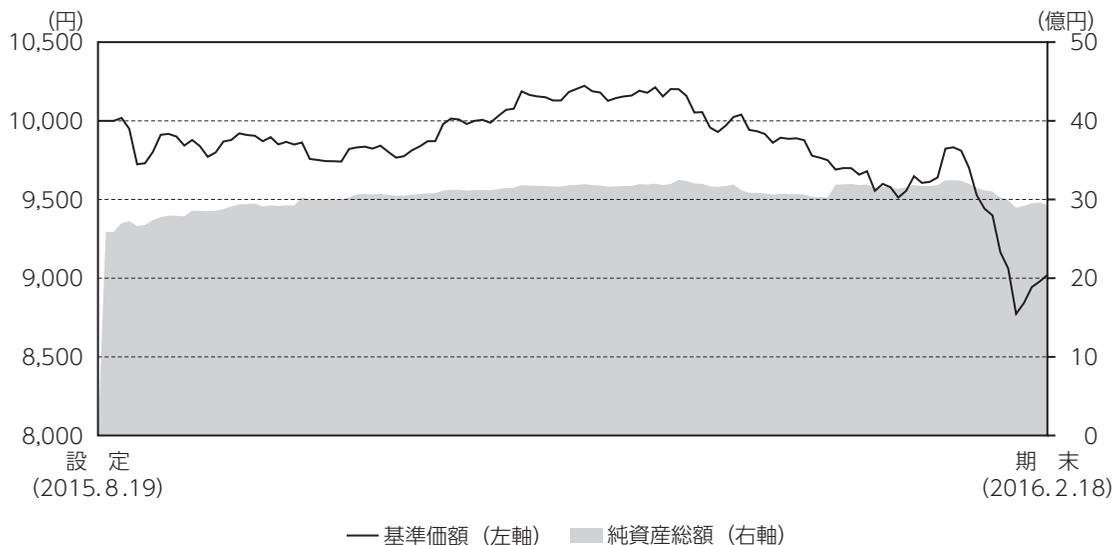
(注2) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注3) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注4) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

《運用経過》

基準価額等の推移について



（注）期末の基準価額は分配金込みです。

■基準価額・騰落率

設定時：10,000円

期 末：8,895円（分配金125円）

騰落率：△9.8%（分配金込み）

■基準価額の主な変動要因

主として、ABグローバル・ハイブリッド証券ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）（以下「ハイブリッド証券F（為替ヘッジなし）」といいます。）の受益証券への投資を通じて、世界の金融機関が発行するハイブリッド証券に投資した結果、利息収入は基準価額にプラスに寄与しましたが、ハイブリッド証券の価格下落や為替が円高に推移したことなどがマイナス要因となり、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド（為替ヘッジなし）

年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 率	投 資 信 託 証 券 率
	騰 落 率	騰 落 率		
(設定) 2015年 8月19日	円 10,000	% -	% -	% -
8 月末	9,917	△0.8	0.0	97.3
9 月末	9,751	△2.5	0.0	96.3
10月末	10,006	0.1	0.0	99.7
11月末	10,161	1.6	0.0	99.9
12月末	9,889	△1.1	0.0	100.1
2016年 1 月末	9,824	△1.8	0.0	99.9
(期末) 2016年 2月18日	9,020	△9.8	0.0	99.2

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は設定比。

投資環境について

○ハイブリッド証券市況

ハイブリッド証券市況は軟調に推移しました。2015年9月中旬以降、世界的な景気減速懸念などを背景にリスク資産全般が軟調に推移する中、資本性の高いC o C o債（※）をはじめとしてハイブリッド証券は軟調に推移しました。その後、市場のリスク回避姿勢が和らぐと、ハイブリッド証券市場も堅調に推移しました。しかし12月に入ると、原油価格の下落や中国経済への懸念が再び台頭したことで企業への信用リスク懸念が高まり、C o C o債や劣後債を中心に軟調に推移しました。その後年末にかけて持ち直しましたが、2016年に入ってから市場心理は改善せず、特に2月以降は欧州の一部の金融機関について信用リスク懸念が台頭したことで、ハイブリッド証券もC o C o債を中心に大きく価格が下落しました。

※C o C o債とは、特定の条件下において強制的に投資家が損失を負担する条項（C o C o条項）が付帯されたハイブリッド証券（劣後債、優先証券）をいいます。

○為替相場

投資している米ドルや英ポンドは、期を通しておおむね下落しました。設定時より、原油価格の下落や中国・人民元の切下げおよび新興国経済の減速懸念の高まりを背景に、リスク回避の動きから円高となりました。その後、2015年9月のF O M C（米国連邦公開市場委員会）では米国の利上げが見送られましたが、方向感に欠ける動きとなりました。10月以降は、年内の米国の利上げを織り込む展開となり、米ドル、英ポンドともに対円で上昇しました。12月以降は、原油価格の下落、中国株安や人民元下落などがリスク回避傾向を強め、円高が進行しました。その後、E C B（欧州中央銀行）による追加金融緩和の示唆や日銀のマイナス金利導入の発表などから一時的に円安となりましたが、米国経済への懸念などから再び円高に転じました。

ポートフォリオについて

○当ファンド

当ファンドは、ハイブリッド証券F（為替ヘッジなし）とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズであり、期を通じてハイブリッド証券F（為替ヘッジなし）への投資割合を高位に維持しました。

○ハイブリッド証券F（為替ヘッジなし）

世界の金融機関（関連会社等を含む）が発行するハイブリッド証券に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしました。ポートフォリオはG-SIFsを中心に、利回り水準や流動性、発行体の信用力などを考慮して銘柄選定を行ないました。ハイブリッド証券種別では、米国優先証券やC o C o債を中心に投資を行ないました。国・地域別では規制強化により財務改善がより進んでいる米国の金融機関の比率を高めとしました。

○ダイワ・マネーストック・マザーファンド

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行ないました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当期の1万口当たり分配金（税込み）は125円といたしました。

収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当たり）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当たり）

項 目	当 期	
	2015年8月19日 ～2016年2月18日	
当期分配金（税込み）（円）		125
対基準価額比率（％）		1.39
当期の収益（円）		125
当期の収益以外（円）		—
翌期繰越分配対象額（円）		3

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当たり）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	127.95円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00
(c) 収益調整金	0.21
(d) 分配準備積立金	0.00
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	128.16
(f) 分配金	125.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	3.16

(注) 下線を付した該当項目から分配金を計上しています。

《今後の運用方針》

○当ファンド

主として、ハイブリッド証券F（為替ヘッジなし）への投資割合を高位に保つことによって、世界の金融機関（関連会社等を含む）が発行するハイブリッド証券等からの収益を享受することをめざします。

○ハイブリッド証券F（為替ヘッジなし）

世界の金融機関（関連会社等を含む）が発行するハイブリッド証券等に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。

○ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、安定的な運用を行ないます。

1 万口当りの費用の明細

項 目	当期		項 目 の 概 要
	(2015.8.19~2016.2.18)		
	金 額	比 率	
信託報酬	63円	0.638%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は9,841円です。
（投信会社）	(21)	(0.217)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
（販売会社）	(40)	(0.407)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託銀行）	(1)	(0.014)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	0	0.004	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（監査費用）	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	63	0.642	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況

(1) 投資信託受益証券

(2015年8月19日から2016年2月18日まで)

		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
		千口	千円	千口	千円
国内	ABグローバル・ハイブリッド証券ファンド(為替ヘッジなし)(適格機関投資家専用)	3,465,591.344	3,445,455	192,398.714	182,000

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託受益証券の設定、解約状況

(2015年8月19日から2016年2月18日まで)

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
	0	1	-	-

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

(1) 当ファンドにおける期中の利害関係人との取引状況

当期中における利害関係人との取引はありません。

(2) ダイワ・マネースtock・マザーファンドにおける期中の利害関係人との取引状況

(2015年8月19日から2016年2月18日まで)

決 算 期	当 期					
	買付額等 A	うち利害 関係人との 取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害 関係人との 取引状況D	D/C
公社債						
コール・ローン	1,758,682	-	-	-	-	-

(注) 平均保有割合0.0%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ペビエファンドのマザーファンド所有口数の割合。

(3) 期中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当期中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期中における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券です。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

フ ァ ン ド 名	当 期 末		
	口 数	評 価 額	比 率
国内投資信託受益証券 ABグローバル・ハイブリッド証券ファンド (為替ヘッジなし)(適格機関投資家専用)	千口 3,273,192.63	千円 2,908,231	% 99.2

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	当 期 末	
	口 数	評 価 額
	千口	千円
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	0	1

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2016年2月18日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	2,908,231	97.0
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	1	0.0
コール・ローン等、その他	88,819	3.0
投資信託財産総額	2,997,052	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド（為替ヘッジなし）

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2016年2月18日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	2,997,052,214円
コール・ローン等	88,819,562
投資信託受益証券(評価額)	2,908,231,651
ダイワ・マネーストック・マザーファンド(評価額)	1,001
(B) 負債	66,783,183
未払収益分配金	41,177,196
未払解約金	6,081,797
未払信託報酬	19,400,449
その他未払費用	123,741
(C) 純資産総額(A - B)	2,930,269,031
元本	3,294,175,690
次期繰越損益金	△ 363,906,659
(D) 受益権総口数	3,294,175,690口
1万口当り基準価額(C / D)	8,895円

*設定時における元本額は2,588,817,401円、当期中における追加設定元本額は850,765,578円、同解約元本額は145,407,289円です。

*当期末の計算口数当りの純資産額は8,895円です。

*当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は363,906,659円です。

■損益の状況

当期 自2015年8月19日 至2016年2月18日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	61,675,304円
受取配当金	61,660,232
受取利息	15,072
(B) 有価証券売買損益	△354,531,209
売買益	1,717,379
売買損	△356,248,588
(C) 信託報酬等	△ 19,524,190
(D) 当期損益金(A + B + C)	△312,380,095
(E) 追加信託差損益金	△ 10,349,368
(配当等相当額)	(70,286)
(売買損益相当額)	(△ 10,419,654)
(F) 合計(D + E)	△322,729,463
(G) 収益分配金	△ 41,177,196
次期繰越損益金(F + G)	△363,906,659
追加信託差損益金	△ 10,349,368
(配当等相当額)	(70,286)
(売買損益相当額)	(△ 10,419,654)
分配準備積立金	973,918
繰越損益金	△354,531,209

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程（総額）」の表を参照。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	42,151,114円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	70,286
(d) 分配準備積立金	0
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	42,221,400
(f) 分配金	41,177,196
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	1,044,204
(h) 受益権総口数	3,294,175,690口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ	
1 万 口 当 り 分 配 金	125円

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、2月18日現在の基準価額（1万口当り8,895円）に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

<補足情報>

当ファンド（ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド（為替ヘッジあり／為替ヘッジなし））が投資対象として「ダイワ・マネースtock・マザーファンド」の決算日（2015年12月9日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの決算日（2016年2月18日）現在におけるダイワ・マネースtock・マザーファンドの組入資産の内容等を19ページに併せて掲載いたしました。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンドの主要な売買銘柄
公 社 債

(2015年8月19日から2016年2月18日まで)

買		付	売		付
銘	柄	金 額	銘	柄	金 額
		千円			千円
568	国庫短期証券 2016/2/15	7,000,594	575	国庫短期証券 2016/6/10	1,500,603
574	国庫短期証券 2016/3/14	5,000,640	342	2年国債 0.1% 2016/7/15	720,475
573	国庫短期証券 2016/3/7	4,500,619	100	5年国債 0.3% 2016/9/20	601,368
567	国庫短期証券 2016/2/8	4,299,996			
576	国庫短期証券 2016/3/22	3,500,336			
557	国庫短期証券 2015/12/14	2,999,999			
555	国庫短期証券 2015/12/7	2,500,000			
553	国庫短期証券 2015/11/24	2,060,000			
578	国庫短期証券 2016/3/28	2,000,106			
550	国庫短期証券 2015/11/9	2,000,000			

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

下記は、2016年2月18日現在におけるダイワ・マネースtock・マザーファンド（34,996,077千円）の内容です。

(1) 国内（邦貨建）公社債（種類別）

2016年2月18日現在								
区 分	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	う ち B B 格 以下組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率			%
					5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満	
	千円	千円	%		%	%	%	%
国債証券	17,000,000	17,000,800	48.4	—	—	—	—	48.4

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(2) 国内（邦貨建）公社債（銘柄別）

2016年2月18日現在							
区 分	銘	柄	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日	
			%	千円	千円		
国債証券	573	国庫短期証券	—	4,500,000	4,500,125	2016/03/07	
	556	国庫短期証券	—	1,000,000	1,000,028	2016/03/10	
	574	国庫短期証券	—	5,000,000	5,000,170	2016/03/14	
	576	国庫短期証券	—	3,500,000	3,500,112	2016/03/22	
	578	国庫短期証券	—	2,000,000	2,000,042	2016/03/28	
	588	国庫短期証券	—	1,000,000	1,000,322	2016/05/16	
合 計	銘 柄 数	金 額					
		6銘柄		17,000,000	17,000,800		

(注) 単位未満は切捨て。

ダイワ・マネースtock・マザーファンド

運用報告書 第6期 (決算日 2015年12月9日)

(計算期間 2014年12月10日～2015年12月9日)

ダイワ・マネースtock・マザーファンドの第6期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主要投資対象	円建ての債券
運用方法	①円建ての債券を中心に投資し、安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。 ②円建資産への投資にあたっては、残存期間が1年未満、取得時においてA-2格相当以上の債券およびコマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。
株式組入制限	純資産総額の10%以下

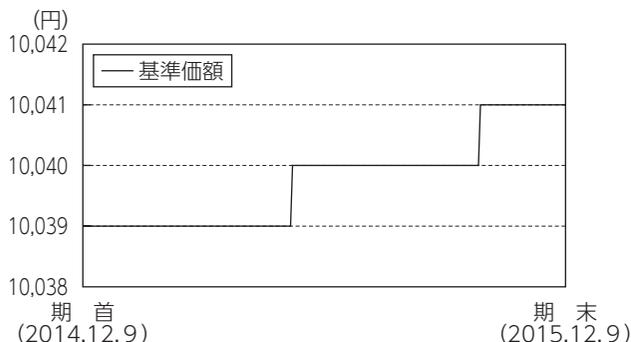
大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当期中の基準価額の推移



年 月 日	基準 価 額		公 社 債 組 入 比 率
	騰 落 率	%	
(期首)2014年12月9日	10,039	—	58.5
12月末	10,039	0.0	97.2
2015年1月末	10,039	0.0	71.6
2月末	10,039	0.0	62.6
3月末	10,039	0.0	56.0
4月末	10,039	0.0	58.0
5月末	10,040	0.0	59.9
6月末	10,040	0.0	56.2
7月末	10,040	0.0	57.4
8月末	10,040	0.0	55.6
9月末	10,040	0.0	59.3
10月末	10,041	0.0	71.0
11月末	10,041	0.0	52.1
(期末)2015年12月9日	10,041	0.0	51.6

(注1) 騰落率は期首比。
 (注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。
 (注3) 当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,039円 期末：10,041円 騰落率：0.0%

【基準価額の主な変動要因】

低金利環境で利息収入が僅少であったことなどから、基準価額はほぼ横ばいとなりました。

◆投資環境について

○国内短期金融市場

期を通じて、日銀は金融市場調節の操作目標をマネタリーベースとする量的・質的金融緩和政策を維持しました。このような日銀の金融政策を背景に、短期金融市場では低金利が続く、無担保コール翌日物金利は0.07%台を中心に推移しました。国庫短期証券(3カ月物)の利回りは日銀の買い入れによる需給ひっ迫等を背景に、△0.11～0.02%程度で推移しました。

◆前期における「今後の運用方針」

資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行なってまいります。

◆ポートフォリオについて

短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産による安定運用を行ないました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等の短期金融資産への投資により、安定的な運用を行なってまいります。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用	—
合 計	—

(注) 費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

■売買および取引の状況

公 社 債

(2014年12月10日から2015年12月9日まで)

国 内	買 付 額	売 付 額
		千円
国債証券	75,714,577	—
		(43,770,000)

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。
 (注2) ()内は償還による減少分、上段の数字には含まれておりません。
 (注3) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

公 社 債

(2014年12月10日から2015年12月9日まで)

買 付		売 付	
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
	千円		千円
568 国庫短期証券 2016/2/15	7,000,594		
574 国庫短期証券 2016/3/14	5,000,640		
573 国庫短期証券 2016/3/7	4,500,619		
540 国庫短期証券 2015/9/24	3,799,996		
557 国庫短期証券 2015/12/14	2,999,999		
567 国庫短期証券 2016/2/8	2,999,997		
520 国庫短期証券 2015/6/22	2,999,976		
555 国庫短期証券 2015/12/7	2,500,000		
553 国庫短期証券 2015/11/24	2,060,000		
536 国庫短期証券 2015/9/7	2,000,000		

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。
 (注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1) 国内（邦貨建）公社債（種類別）

区 分	当 期			末 期			
	額面金額	評 価 額	組入比率	うちB B格以下組入比率	残存期間別組入比率		
	千円	千円	%	%	5年以上	2年以上	2年未満
国債証券	32,420,000	32,424,550	51.6	—	—	—	51.6

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(2) 国内（邦貨建）公社債（銘柄別）

区 分	銘 柄	当 期		末 期		償還年月日
		額面金額	評 価 額	額面金額	評 価 額	
		千円	千円	千円	千円	
国債証券	557 国庫短期証券	—	3,000,000	2,999,999	2015/12/14	
	559 国庫短期証券	—	2,000,000	2,000,000	2015/12/21	
	560 国庫短期証券	—	1,600,000	1,599,999	2015/12/28	
	563 国庫短期証券	—	1,000,000	999,999	2016/01/18	
	566 国庫短期証券	—	1,500,000	1,499,999	2016/02/01	
	567 国庫短期証券	—	3,000,000	2,999,998	2016/02/08	
	568 国庫短期証券	—	7,000,000	7,000,594	2016/02/15	
	573 国庫短期証券	—	4,500,000	4,500,612	2016/03/07	
	556 国庫短期証券	—	1,000,000	1,000,123	2016/03/10	
	574 国庫短期証券	—	5,000,000	5,000,640	2016/03/14	
	575 国庫短期証券	—	1,500,000	1,500,448	2016/06/10	
	342 2年国債	0.1000	720,000	720,576	2016/07/15	
	100 5年国債	0.3000	600,000	601,560	2016/09/20	
合計	銘柄数 金額	13銘柄 32,420,000	32,424,550			

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2015年12月9日現在

項 目	当 期		末 期	
	評 価 額	比 率	評 価 額	比 率
	千円	%	千円	%
公社債	32,424,550	40.2		
コール・ローン等、その他	48,181,367	59.8		
投資信託財産総額	80,605,918	100.0		

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2015年12月9日現在

項 目	当 期	末 期
(A) 資産	80,605,918,433円	
コール・ローン等	48,180,683,441	
公社債(評価額)	32,424,550,578	
未収利息	481,238	
前払費用	203,176	
(B) 負債	17,814,126,500	
未払金	17,502,126,500	
未払解約金	312,000,000	
(C) 純資産総額(A-B)	62,791,791,933	
元本	62,535,131,959	
次期繰越損益金	256,659,974	
(D) 受益権総口数	62,535,131,959口	
1万口当り基準価額(C/D)	10,041円	

* 期首における元本額は817,136,908円、当期中における追加設定元本額は80,209,414,361円、同解約元本額は18,491,419,310円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ米国担保付債権ファンド(為替ヘッジあり)112,594,660円、ダイワ米国担保付債権ファンド(為替ヘッジなし)73,734,556円、ダイワ米国バンクローン・ファンド(為替ヘッジあり)2014-07 9,963円、ダイワ米国バンク

ローン・ファンド(為替ヘッジあり)2014-09 9,963円、ダイワ米国バンクローン・ファンド(為替ヘッジあり)2014-11 9,962円、ロボット・テクノロジ関連株ファンド-ロボテック-3,983,667円、新興国ソブリン・豪ドルファンド(毎月決算型)999円、新興国ソブリン・ブラジリアルファンド(毎月決算型)999円、新興国ソブリン・ファンド(為替ヘッジあり/毎月決算型)999円、アジア高利回り社債ファンド(為替ヘッジあり/毎月決算型)999円、りそな毎月払出し・豪ドル債ファンド Aコース2,996,693円、りそな毎月払出し・豪ドル債ファンド Bコース2,494,264円、りそな毎月払出し・豪ドル債ファンド Cコース999,197円、りそな毎月払出し・豪ドル債ファンド2 Aコース698,255円、りそな毎月払出し・豪ドル債ファンド2 Bコース458,853円、りそな毎月払出し・豪ドル債ファンド3 Aコース1,994,416円、りそな毎月払出し・豪ドル債ファンド3 Bコース648,186円、りそな毎月払出し・豪ドル債ファンド3 Cコース179,498円、世界優先証券ファンド(為替ヘッジあり/限定追加型)998円、US短期ハイ・イールド社債ファンド(為替ヘッジあり/毎月決算型)3,988,832円、US短期高利回り社債ファンド(為替ヘッジあり/年1回決算型)4,984円、ダイワ上場投信-日経平均レバレッジ・インデックス14,063,387,856円、ダイワ上場投信-日経平均ダブルインバース・インデックス2,983,307,364円、ダイワ上場投信-TOP I Xレバレッジ(2倍)指数2,081,906,471円、ダイワ上場投信-TOP I Xダブルインバース(一2倍)指数796,936,766円、ダイワ上場投信-日経平均インバース・インデックス37,546,378,604円、ダイワ上場投信-TOP I Xインバース(一1倍)指数2,340,731,717円、ダイワ上場投信-J P X日経400レバレッジ・インデックス687,286,710円、ダイワ上場投信-J P X日経400インバース・インデックス278,916,205円、ダイワ上場投信-J P X日経400ダブルインバース・インデックス727,153,136円、ダイワ/シュロダー・グローバル高利回りCBファンド(限定追加型)為替ヘッジあり7,009,001円、ダイワ/シュロダー・グローバル高利回りCBファンド(限定追加型)為替ヘッジなし904,221円、ダイワ・プルベア・セレクト マネー・ポートフォリオ4,980,676円、ダイワ・プルベア・セレクト ドル高円安ポートフォリオ258,995,899円、ダイワ・プルベア・セレクト 円高ドル安ポートフォリオ69,726,080円、ダイワ/モルガン・スタンレー新興4カ国不動産関連ファンド-成長の権首(つちおと)-11,000,000円、ダイワ/ハリス世界厳選株ファンド・マネー・ポートフォリオ197,260,107円、ダイワ・アセアン内需関連株ファンド・マネー・ポートフォリオ90,940,158円、ダイワ米国高利回り不動産証券ファンド19,942,168円、通貨選択型ダイワ/ミレアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンドⅡ 豪ドル・コース(毎月分配型)4,184,518円、通貨選択型ダイワ/ミレアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンドⅡ ブラジリアル・コース(毎月分配型)12,952,078円、通貨選択型ダイワ/ミレアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンドⅡ 通貨セレクト・コース(毎月分配型)4,981,569円、ダイワUS短期ハイ・イールド社債ファンド(為替ヘッジあり/年1回決算型)199,295円、ダイワ米国バンクローン・オープン(為替ヘッジあり)997円、ダイワ米国バンクローン・オープン(為替ヘッジなし)997円、ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド(為替ヘッジあり)997円、ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド(為替ヘッジなし)997円、<奇数月定額払出型>ダイワ先進国リートα 為替ヘッジあり49,806円、<奇数月定額払出型>ダイワ先進国リートα 為替ヘッジなし49,806円、通貨選択型ダイワ/ミレアセット・グローバル好配当株α(毎月分配型)米ドル・コース4,980,080円、通貨選択型ダイワ/ミレアセット・グローバル好配当株α(毎月分配型)ブラジル・リアル・コース12,948,208円、通貨選択型ダイワ/ミレアセット・グローバル好配当株α 為替ヘッジあり(毎月分配型)399,083円、ダイワ先進国リートα 為替ヘッジなし(毎月分配型)99,771円、通貨選択型ダイワ先進国リートα 円ヘッジコース(毎月分配型)399,083円、通貨選択型ダイワ先進国リートα 通貨セレクトコース(毎月分配型)99,771円、ダイワ/ミレアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンド(為替ヘッジあり)20,016,725円、ダイワ/ミレアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンド(為替ヘッジなし)4,000,959円、ダイワ/ミレアセット・アジア・セクターリーダー株ファンド49,850,449円、ダイワ日本株ストラテジーα(通貨選択型)-ジャパン・トリプルリターンズ- 日本円・コース(毎月分配型)398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα(通貨選択型)-ジャパン・トリプルリターンズ- 豪ドル・コース(毎月分配型)99,691円、ダイワ日本株ストラテジーα(通貨選択型)-ジャパン・トリプルリターンズ- ブラジリアル・リアル・コース(毎月分配型)398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα(通貨選択型)-ジャパン・トリプルリターンズ- 米ドル・コース(毎月分配型)398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα(通貨選択型)-ジャパン・トリプルリターンズ- 通貨セレクト・コース(毎月分配型)1,993,820円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド-イーグルアイⅡ- 予想分配金提示型 日本円・コース3,488,836円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド-イーグルアイⅡ- 予想分配金提示型 豪ドル・コース2,492,026円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド-イーグルアイⅡ- 予想分配金提示型 ブラジリアル・リアル・コース

ダイワ・マネースtock・マザーファンド

3,488,836円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII - 予想分配金提示型 - 米ドル・コース19,936,205円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII - 予想分配金提示型 - 通貨セレクト・コース11,961,723円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,041円です。

■損益の状況

当期 自2014年12月10日 至2015年12月9日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	4,849,980円
受取利息	4,849,980
(B) 有価証券売買損益	△ 176,333
売買益	15,667
売買損	△ 192,000
(C) 当期損益金(A + B)	4,673,647
(D) 前期繰越損益金	3,178,379
(E) 解約差損益金	△ 74,181,691
(F) 追加信託差損益金	322,989,639
(G) 合計(C + D + E + F)	256,659,974
次期繰越損益金(G)	256,659,974

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。



ABグローバル・ハイブリッド証券ファンド (為替ヘッジあり) (適格機関投資家専用)
ABグローバル・ハイブリッド証券ファンド (為替ヘッジなし) (適格機関投資家専用)

追加型投信／内外／その他資産 (ハイブリッド証券)
 第1期 (決算日2016年1月18日)

●当ファンドの仕組み
 当ファンドの仕組みは次のとおりです。

	為替ヘッジあり	為替ヘッジなし
商品分類	追加型投信／内外／その他資産 (ハイブリッド証券)	
信託期間	無期限	
運用方針	<p>① ABグローバル・ハイブリッド証券マザーファンドの受益証券への投資を通じて、世界の金融機関 (関連会社等を含みます。) が発行するハイブリッド証券 (劣後債、優先証券) * に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を旨として運用を行います。 * C o C o 条項が付帯されているものを含みます。</p> <p>② マザーファンドの受益証券の組入比率は、原則として高度に維持します。</p> <p>③ マザーファンドにおけるハイブリッド証券への投資にあたっては、G-SIFIsに指定された金融機関 (関連会社等を含みます。) が発行する銘柄を中心に投資を行います。</p> <p>④ ポートフォリオの構築にあたっては、原則として、利回り水準や信用力等を考慮して投資対象銘柄を選定します。</p>	
	実質外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をめざします。	実質外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主運用対象	ABグローバル・ハイブリッド証券ファンド (適格機関投資家専用)	マザーファンドの受益証券を主要投資対象とします。
	ABグローバル・ハイブリッド証券マザーファンド	世界の金融機関 (関連会社等を含みます。) が発行するハイブリッド証券 (劣後債、優先証券) * を主要投資対象とします。 * C o C o 条項が付帯されているものを含みます。
組入制限	ABグローバル・ハイブリッド証券ファンド (適格機関投資家専用)	① 外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。 ② 株式への実質投資割合には、制限を設けません。
	ABグローバル・ハイブリッド証券マザーファンド	① 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。 ② 株式への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	<p>毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。</p> <p>① 分配対象額の範囲は、経費控除後の利子・配当等収益および売買益 (評価益を含みます。) 等の全額とします。</p> <p>② 分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないこともあります。</p> <p>③ 留保益の運用については、特に制限を設けず、「基本方針」および「投資態度」に基づいて運用を行います。</p>	

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「ABグローバル・ハイブリッド証券ファンド (為替ヘッジあり) (適格機関投資家専用)」 「ABグローバル・ハイブリッド証券ファンド (為替ヘッジなし) (適格機関投資家専用)」は、このたび第1期の決算を行いました。

ここに、当期の運用状況をご報告申し上げます。今後とも一層のお引き立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

アライアンス・バーンスタイン株式会社

〒100-0005
 東京都千代田区丸の内一丁目8番3号
 丸の内トラストタワー本館
 お問い合わせ先 お客様窓口
 電話番号 03-3240-8608
 (受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで)

ABグローバル・ハイブリッド証券ファンド（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	基準価額			債組入比率	債券先物比率	純資産額
		税分	込配	み騰落中率			
(設定日) 2015年8月20日	円 10,000		円 -	% -	% -	% -	百万円 8,000
1期(2016年1月18日)	9,843		193	0.4	89.3	-	11,224

(注) 設定日の基準価額は、当初設定時の価額です。また設定日の純資産総額は、当初設定元本総額を表示しております。

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

(注) 債券組入比率には、新株予約権付社債（転換社債）は含まれておりません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	基準価額		債組入比率	債券先物比率	債券先物比率
		騰落	率			
(設定日) 2015年8月20日	円 10,000		% -	% -	% -	% -
8月末	9,988		△0.1	90.5	-	-
9月末	9,921		△0.8	93.5	-	-
10月末	10,103		1.0	96.6	-	-
11月末	10,135		1.4	96.1	-	-
12月末	10,050		0.5	93.8	-	-
(期末) 2016年1月18日	10,036		0.4	89.3	-	-

(注) 期末基準価額は分配金込み、各騰落率は設定日比です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

(注) 債券組入比率には、新株予約権付社債（転換社債）は含まれておりません。

(注) 月末は、各月の最終営業日です。

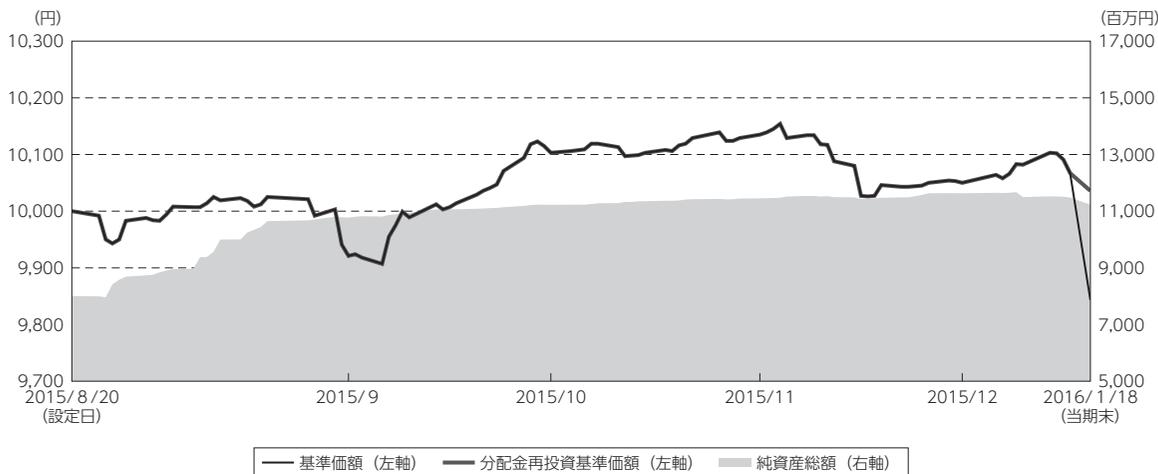
※当ファンドの運用方針と類似した適切な指標が存在しないため、ベンチマーク及び参考指数を設けておりません。

運用経過

ABグローバル・ハイブリッド証券ファンド（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）（以下「当ファンド」といいます。）の運用状況をご報告いたします。

期中の基準価額等の推移

（2015年8月20日～2016年1月18日）



設定日：10,000円

期 末：10,036円（既払分配金（税込み）：193円）

騰落率： 0.4%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

（注）上記騰落率は、小数第2位を四捨五入して表示しております。

（注）分配金再投資基準価額は、設定日（2015年8月20日）の値が基準価額と同一になるよう指数化しております。

○当期中の基準価額等の推移

基準価額（分配金（税込み）再投資）は、設定来では0.4%の上昇*となりました。

*基準価額の騰落率は、税込分配金を決算日の基準価額で全額再投資したと仮定した場合のパフォーマンスを示しています。税金、手数料等を考慮しておりませんので、投資家の皆様の実際の投資成果を示すものではありません。

○基準価額の主な変動要因

<値上がり要因>

- ・保有債券のクーポン収入

<値下がり要因>

- ・保有債券の価格下落
- ・為替のヘッジ・コスト

投資環境

（2015年8月20日～2016年1月18日）

当期のハイブリッド証券市場については、全般としては小幅な上昇となりました。

2015年9月中旬以降、世界的な景気減速懸念などを背景にリスク資産全般が軟調に推移する中、資本性の高いCoCo債をはじめとしてハイブリッド証券は軟調に推移しました。その後、市場のリスク回避姿勢が和らぐと、ハイブリッド証券市場も堅調に推移しました。しかし、12月に入ると原油価格の下落や中国経済への懸念が再び台頭したことで企業への信用リスク懸念が高まり、CoCo債や米国優先証券を中心に軟調に推移しました。その後年末にかけて持ち直しましたが、2016年に入っても市場のセンチメントは改善せず、軟調に推移しました。

当ファンドのポートフォリオ

（2015年8月20日～2016年1月18日）

当ファンドはA Bグローバル・ハイブリッド証券マザーファンド（以下、「マザーファンド」ということがあります）受益証券を主要投資対象とし、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を図ります。

マザーファンドは世界の金融機関が発行するハイブリッド証券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行います。

当ファンドは期を通してほぼ全額をマザーファンド受益証券に投資しました。なお、当ファンドの外貨建資産については、高い為替ヘッジ比率を維持しました。

<マザーファンド>

世界の金融機関が発行するハイブリッド証券に投資します。

ハイブリッド証券への投資にあたっては、G-SIFIs（Global Systemically Important Financial Institutions）に指定された金融機関が発行する銘柄を中心に投資を行い、ポートフォリオの構築にあたっては、利回り水準や信用力等を考慮して投資対象銘柄を選定しました。

その結果、従来型の優先証券については、利回り水準が魅力的であるとして徐々に組入比率を引き上げました。

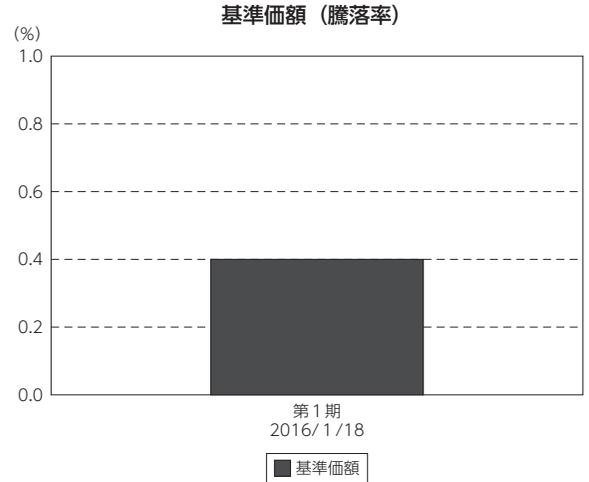
米国優先証券については、価格が上昇した11月に一部を売却し利益確定を行い、12月に割安と判断した銘柄を買い付けました。

CoCo債については、価格が上昇し相対的に割高であると考えた銘柄を売却し、期末にかけて組入比率を引き下げました。

当ファンドのベンチマークとの差異

（2015年8月20日～2016年1月18日）

当ファンドは、特定の指数を上回ることを目指す運用を行っていないため、ベンチマークを設けておりません。



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

分配金

（2015年8月20日～2016年1月18日）

当期の収益分配については、配当等収益に基づき、基準価額水準、市場動向等を勘案し、193円（1万口当たり、税込み）とさせていただきます。なお、収益分配に充てなかった利益につきましては、信託財産内に留保し「運用の基本方針」に基づいて運用を行います。

分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第1期
	2015年8月20日～ 2016年1月18日
当期分配金	193
（対基準価額比率）	1.923%
当期の収益	193
当期の収益以外	-
翌期繰越分配対象額	17

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の当期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）「当期の収益」、「当期の収益以外」は小数以下切り捨てで算出しているため合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

（注）上記表は、経費控除後の数値です。分配金の計算過程については、「損益の状況」の注記をご覧ください。

今後の運用方針

引き続き、マザーファンド受益証券にほぼ全額投資する方針です。

<マザーファンド>

世界経済は、緩やかな成長が続くと見ています。2016年は先進国の成長に加え、新興国の景気減速に歯止めがかかり世界の経済成長率は前年から加速すると考えています。米連邦準備理事会（F R B）は事前の予想どおり政策金利を正常に戻す過程に入りました。春先にも2回目の利上げの可能性もあるとみていますが、利上げが既に市場に織り込まれていることとあわせて、金利上昇ペースは緩やかなものになると考えています。

ハイブリッド証券市場については、当局による金融機関への資本規制の具体的な内容が次第に明らかになりつつある中で、各金融機関には資本水準の引上げやリスク削減の取組みが引き続き求められ、さらなる信用力向上が期待できることから、引き続き魅力的な市場であると考えています。特にバーゼルⅢ対応型ハイブリッド証券は、市場参加者の拡大が見込まれる上、割安度の観点でも投資妙味が大きいとみています。

国・地域別では、財務改善が進んでいる米国の銀行のほか、英国や欧州主要国の銀行に着目しています。銘柄選定にあたっては、ファンダメンタル対比で割安感が高まったとみられる銘柄を慎重に選択していく方針です。

※将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

○ 1万口当たりの費用明細

（2015年8月20日～2016年1月18日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	円 24 (23) (0) (1)	% 0.238 (0.224) (0.002) (0.011)	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用、基準価額の算出、法定書類作成等の対価 購入後の情報提供、各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (監 査 費 用) (そ の 他)	1 (0) (0) (1)	0.013 (0.001) (0.002) (0.009)	(b)その他費用＝期中のその他費用÷期中の各月末の受益権口数の平均 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 その他は、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
合 計	25	0.251	
期中の平均基準価額は、10,039円です。			

(注) 期中の費用（消費税等の課されるものは消費税等相当額を含めて表示）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。ただし、平均基準価額は円未満切り捨て。

(注) その他費用は、当ファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は、1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2015年8月20日～2016年1月18日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
A Bグローバル・ハイブリッド証券マザーファンド	千口 12,246,235	千円 12,185,880	千口 708,989	千円 703,520

(注) 単位未満は切り捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2015年8月20日～2016年1月18日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2016年1月18日現在)

親投資信託残高

銘 柄	当 期 末	
	□ 数	評 価 額
A Bグローバル・ハイブリッド証券マザーファンド	千口 11,537,245	千円 11,084,985

(注) 単位未満は切り捨て。

○投資信託財産の構成

(2016年1月18日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
A Bグローバル・ハイブリッド証券マザーファンド	千円 11,084,985	% 96.6
コール・ローン等、その他	386,233	3.4
投資信託財産総額	11,471,218	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨て。

(注) A Bグローバル・ハイブリッド証券マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（13,522,321千円）の投資信託財産総額（15,038,692千円）に対する比率は89.9%です。

(注) 外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、邦貨換算に使用した為替レート（各1通貨単位当たり）は、1米ドル=117.05円、1英ポンド=166.82円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2016年1月18日現在）

項 目	当 期 末	円
(A) 資産	22,260,252,300	
コール・ローン等	82,701,214	
ABグローバル・ハイブリッド証券マザーファンド(評価額)	11,084,985,734	
未収入金	11,092,565,330	
未収利息	22	
(B) 負債	11,035,969,581	
未払金	10,790,013,405	
未払収益分配金	220,076,286	
未払信託報酬	25,663,890	
その他未払費用	216,000	
(C) 純資産総額(A - B)	11,224,282,719	
元本	11,402,916,383	
次期繰越損益金	△ 178,633,664	
(D) 受益権総口数	11,402,916,383口	
1万口当たり基準価額(C / D)	9,843円	

(注) 当初設定元本額8,000,000,000円、期中追加設定元本額3,571,516,998円、期中一部解約元本額168,600,615円。当期末現在における1口当たり純資産額0.9843円。

○損益の状況（2015年8月20日～2016年1月18日）

項 目	当 期	円
(A) 配当等収益	1,531	
受取利息	1,531	
(B) 有価証券売買損益	64,360,668	
売買益	768,006,650	
売買損	△703,645,982	
(C) 信託報酬等	△ 25,901,490	
(D) 当期損益金(A + B + C)	38,460,709	
(E) 追加信託差損益金	2,981,913	
(配当等相当額)	(18)	
(売買損益相当額)	(2,981,895)	
(F) 計(D + E)	41,442,622	
(G) 収益分配金	△220,076,286	
次期繰越損益金(F + G)	△178,633,664	
追加信託差損益金	2,981,913	
(配当等相当額)	(12,754,544)	
(売買損益相当額)	(△ 9,772,631)	
分配準備積立金	7,707,928	
繰越損益金	△189,323,505	

(注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (C)信託報酬等には信託報酬、監査報酬などの諸費用とそれらに対する消費税等相当額を含めて表示しています。
 (注) (E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
 (注) 第1期計算期間末における費用控除後の配当等収益額(227,784,214円)、費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額(0円)、および収益調整金額(12,754,544円)より分配対象収益額は240,538,758円(10,000口当たり210円)であり、うち220,076,286円(10,000口当たり193円)を分配金額としております。

○分配金のお知らせ

1万口当たり分配金(税込み)	193円
----------------	------

○お知らせ

該当事項はありません。

ABグローバル・ハイブリッド証券ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）

○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額 (分配落)	税 込 分 配 金			騰 落 率	債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 額
		税 分	込 配	金				
(設定日) 2015年8月20日	円 10,000		円 -		% -	% -		百万円 2,580
1期(2016年1月18日)	9,397		188	△4.2	90.3	-		3,086

(注) 設定日の基準価額は、当初設定時の価額です。また設定日の純資産総額は、当初設定元本総額を表示しております。

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

(注) 債券組入比率には、新株予約権付社債（転換社債）は含まれておりません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	券 率
		騰	落			
(設定日) 2015年8月20日	円 10,000		% -		% -	% -
8月末	9,909		△0.9		91.1	-
9月末	9,748		△2.5		93.7	-
10月末	10,014		0.1		96.0	-
11月末	10,181		1.8		96.7	-
12月末	9,916		△0.8		95.8	-
(期 末) 2016年1月18日	9,585		△4.2		90.3	-

(注) 期末基準価額は分配金込み、各騰落率は設定日比です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

(注) 債券組入比率には、新株予約権付社債（転換社債）は含まれておりません。

(注) 月末は、各月の最終営業日です。

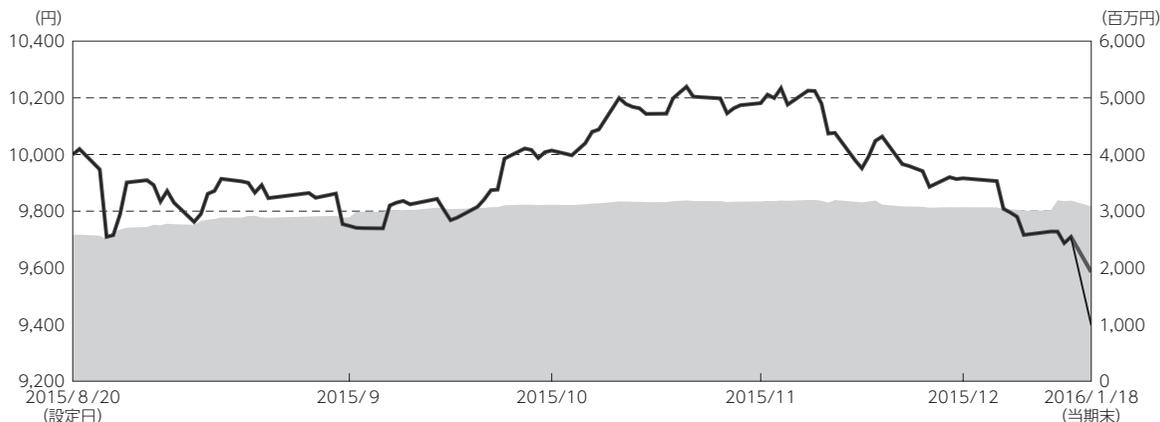
※当ファンドの運用方針と類似した適切な指標が存在しないため、ベンチマーク及び参考指数を設けておりません。

運用経過

ABグローバル・ハイブリッド証券ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）（以下「当ファンド」といいます。）の運用状況をご報告いたします。

期中の基準価額等の推移

（2015年8月20日～2016年1月18日）



— 基準価額 (左軸) — 分配金再投資基準価額 (左軸) — 純資産総額 (右軸)

設定日：10,000円

期末：9,585円（既払分配金（税込み）：188円）

騰落率：△4.2%（分配金再投資ベース）

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 上記騰落率は、小数第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 分配金再投資基準価額は、設定日（2015年8月20日）の値が基準価額と同一になるよう指数化しております。

○当期中の基準価額等の推移

基準価額（分配金（税込み）再投資）は、設定来では4.2%の下落*となりました。

*基準価額の騰落率は、税込分配金を決算日の基準価額で全額再投資したと仮定した場合のパフォーマンスを示しています。税金、手数料等を考慮しておりませんので、投資家の皆様の実際の投資成果を示すものではありません。

○基準価額の主な変動要因

<値上がり要因>

- ・保有債券のクーポン収入

<値下がり要因>

- ・円高/米ドル安が進行したこと。
- ・円高/英ポンド安が進行したこと。
- ・保有債券の価格下落

投資環境

（2015年8月20日～2016年1月18日）

当期のハイブリッド証券市場については、全般としては小幅な上昇となりました。

2015年9月中旬以降、世界的な景気減速懸念などを背景にリスク資産全般が軟調に推移する中、資本性の高いCoCo債をはじめとしてハイブリッド証券は軟調に推移しました。その後、市場のリスク回避姿勢が和らぐと、ハイブリッド証券市場も堅調に推移しました。しかし、12月に入ると原油価格の下落や中国経済への懸念が再び台頭したことで企業への信用リスク懸念が高まり、CoCo債や米国優先証券を中心に軟調に推移しました。その後年末にかけて持ち直しましたが、2016年に入っても市場のセンチメントは改善せず、軟調に推移しました。

為替市場において、円ドル・レートは、米国の利上げ期待の高まりと共に、円安ドル高が進む場面もありましたが、原油価格の下落や中国経済への懸念により世界的にリスク回避の動きが広がり、円高ドルが進行しました。円ポンド・レートは9月上旬および12月以降のリスク回避局面において大きく円高ポンド安が進行しました。

当ファンドのポートフォリオ

（2015年8月20日～2016年1月18日）

当ファンドはA Bグローバル・ハイブリッド証券マザーファンド（以下、「マザーファンド」ということがあります）受益証券を主要投資対象とし、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を図ります。

マザーファンドは世界の金融機関が発行するハイブリッド証券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行います。

当ファンドは期を通してほぼ全額をマザーファンド受益証券に投資しました。当ファンドの実質外貨建資産については為替ヘッジを行いませんでした。

<マザーファンド>

世界の金融機関が発行するハイブリッド証券に投資します。

ハイブリッド証券への投資にあたっては、G-SIFIs（Global Systemically Important Financial Institutions）に指定された金融機関が発行する銘柄を中心に投資を行い、ポートフォリオの構築にあたっては、利回り水準や信用力等を考慮して投資対象銘柄を選定しました。

その結果、従来型の優先証券については、利回り水準が魅力的であるとして徐々に組入比率を引き上げました。

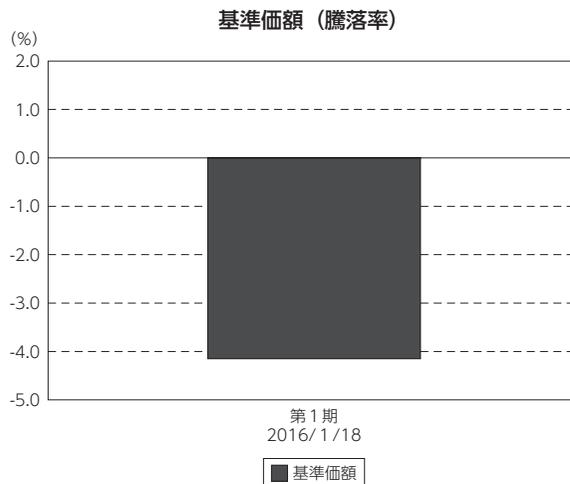
米国優先証券については、価格が上昇した11月に一部を売却し利益確定を行い、12月に割安と判断した銘柄を買い付けました。

CoCo債については、価格が上昇し相対的に割高であると考えた銘柄を売却し、期末にかけて組入比率を引き下げました。

当ファンドのベンチマークとの差異

（2015年8月20日～2016年1月18日）

当ファンドは、特定の指数を上回ることを目指す運用を行っていないため、ベンチマークを設けておりません。



（注）基準価額の騰落率は分配金込みです。

分配金

（2015年8月20日～2016年1月18日）

当期の収益分配については、配当等収益に基づき、基準価額水準、市場動向等を勘案し、188円（1万口あたり、税込み）とさせていただきます。なお、収益分配に充てなかった利益につきましては、信託財産内に留保し「運用の基本方針」に基づいて運用を行います。

分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第1期
	2015年8月20日～ 2016年1月18日
当期分配金	188
（対基準価額比率）	1.961%
当期の収益	188
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	10

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の当期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）「当期の収益」、「当期の収益以外」は小数以下切り捨てで算出しているため合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

（注）上記表は、経費控除後の数値です。分配金の計算過程については、「損益の状況」の注記をご覧ください。

今後の運用方針

引き続き、マザーファンド受益証券にほぼ全額投資する方針です。

<マザーファンド>

世界経済は、緩やかな成長が続くと見ています。2016年は先進国の成長に加え、新興国の景気減速に歯止めがかかり世界の経済成長率は前年から加速すると考えています。米連邦準備理事会（F R B）は事前の予想どおり政策金利を正常に戻す過程に入りました。春先にも2回目の利上げの可能性もあるとみていますが、利上げが既に市場に織り込まれていることとあわせて、金利上昇ペースは緩やかなものになると考えています。

ハイブリッド証券市場については、当局による金融機関への資本規制の具体的な内容が次第に明らかになりつつある中で、各金融機関には資本水準の引上げやリスク削減の取組みが引き続き求められ、さらなる信用力向上が期待できることから、引き続き魅力的な市場であると考えています。特にバーゼルⅢ対応型ハイブリッド証券は、市場参加者の拡大が見込まれる上、割安度の観点でも投資妙味が大きいとみています。

国・地域別では、財務改善が進んでいる米国の銀行のほか、英国や欧州主要国の銀行に着目しています。銘柄選定にあたっては、ファンダメンタル対比で割安感が高まったとみられる銘柄を慎重に選択していく方針です。

※将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

○ 1万口当たりの費用明細

（2015年8月20日～2016年1月18日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	24 (22) (0) (1)	0.238 (0.224) (0.002) (0.011)	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用、基準価額の算出、法定書類作成等の対価 購入後の情報提供、各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (監 査 費 用) (そ の 他)	2 (0) (1) (1)	0.018 (0.001) (0.007) (0.009)	(b)その他費用＝期中のその他費用÷期中の各月末の受益権口数の平均 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 その他は、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
合 計	26	0.256	
期中の平均基準価額は、9,953円です。			

(注) 期中の費用（消費税等の課されるものは消費税等相当額を含めて表示）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。ただし、平均基準価額は円未満切り捨て。

(注) その他費用は、当ファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含まず。

(注) 各比率は、1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

（2015年8月20日～2016年1月18日）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
ABグローバル・ハイブリッド証券マザーファンド	千口 3,396,427	千円 3,381,400	千口 188,622	千円 186,500

（注）単位未満は切り捨て。

○利害関係人との取引状況等

（2015年8月20日～2016年1月18日）

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

（2016年1月18日現在）

親投資信託残高

銘 柄	当 期		末
	□ 数	評 価	額
ABグローバル・ハイブリッド証券マザーファンド	千口 3,207,805		千円 3,082,059

（注）単位未満は切り捨て。

○投資信託財産の構成

（2016年1月18日現在）

項 目	当 期		末
	評 価	額	比 率
ABグローバル・ハイブリッド証券マザーファンド		千円 3,082,059	% 97.7
コール・ローン等、その他		73,555	2.3
投資信託財産総額		3,155,614	100.0

（注）評価額の単位未満は切り捨て。

（注）ABグローバル・ハイブリッド証券マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（13,522,321千円）の投資信託財産総額（15,038,692千円）に対する比率は89.9%です。

（注）外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、邦貨換算に使用した為替レート（各1通貨単位当たり）は、1米ドル=117.05円、1英ポンド=166.82円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2016年1月18日現在）

項 目	当 期 末	円
(A) 資産	3,155,614,244	
コール・ローン等	55,000	
ABグローバル・ハイブリッド証券マザーファンド(評価額)	3,082,059,244	
未収入金	73,500,000	
(B) 負債	69,117,308	
未払収益分配金	61,749,088	
未払信託報酬	7,152,220	
その他未払費用	216,000	
(C) 純資産総額(A - B)	3,086,496,936	
元本	3,284,525,974	
次期繰越損益金	△ 198,029,038	
(D) 受益権総口数	3,284,525,974	口
1万口当たり基準価額(C / D)	9,397	円

(注) 当初設定元本額2,580,000,000円、期中追加設定元本額817,650,791円、期中一部解約元本額113,124,817円。当期末現在における1口当たり純資産額0.9397円。

○損益の状況（2015年8月20日～2016年1月18日）

項 目	当 期	円
(A) 有価証券売買損益	△113,075,937	
売買益	1,086,620	
売買損	△114,162,557	
(B) 信託報酬等	△ 7,368,220	
(C) 当期損益金(A + B)	△120,444,157	
(D) 追加信託差損益金 (売買損益相当額)	△ 15,835,793 (△ 15,835,793)	
(E) 計(C + D)	△136,279,950	
(F) 収益分配金	△ 61,749,088	
次期繰越損益金(E + F)	△198,029,038	
追加信託差損益金 (配当等相当額)	△ 15,835,793 (2,705,844)	
(売買損益相当額)	(△ 18,541,637)	
分配準備積立金	681,693	
繰越損益金	△182,874,938	

(注) (A)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (B)信託報酬等には信託報酬、鑑査報酬などの諸費用とそれらに対する消費税等相当額を含めて表示しています。
 (注) (D)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
 (注) 第1期計算期間末における費用控除後の配当等収益額(62,430,781円)、費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額(0円)、および収益調整金額(2,705,844円)より分配対象収益額は65,136,625円(10,000口当たり198円)であり、うち61,749,088円(10,000口当たり188円)を分配金額としております。

○分配金のお知らせ

1万口当たり分配金(税込み)	188円
----------------	------

○お知らせ

該当事項はありません。

○（参考情報）親投資信託の組入資産の明細

（2016年1月18日現在）

<ABグローバル・ハイブリッド証券マザーファンド>

下記は、ABグローバル・ハイブリッド証券マザーファンド全体（14,745,050千口）の内容です。

外国公社債

(A) 外国（外貨建）公社債 債券種類別開示

区分	当		期		末			
	額面金額	評価額		組入比率	うちBB格 以下組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
アメリカ	千米ドル 96,556	千米ドル 95,880	千円 11,222,827	% 79.2	% 27.9	% 79.2	% -	% -
イギリス	千英ポンド 8,750	千英ポンド 9,498	1,584,591	11.2	3.2	11.2	-	-
合計	-	-	12,807,418	90.4	31.2	90.4	-	-

(注) 邦貨換算金額は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 額面・評価額の単位未満は切り捨て。

(注) -印は該当なし。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 外国（外貨建）公社債 個別銘柄開示

銘柄	柄	当		期		末	
		利率	額面金額	評価額		償還年月日	
				外貨建金額	邦貨換算金額		
アメリカ		%	千米ドル	千米ドル	千円		
	ハイブリッド証券等						
	ABN AMRO BANK NV	4.75	2,600	2,593	303,566	2025/7/28	
	AMERICAN EXPRESS CO	6.8	1,816	1,822	213,359	2066/9/1	
	AQUARIUS + INV FOR SWISS	6.375	2,000	2,060	241,183	2024/9/1	
	BANK OF AMERICA CORP	6.5	1,000	1,045	122,317	2099/10/23	
	BANK OF AMERICA CORP	8.125	4,000	4,050	474,052	2099/11/15	
	BBVA INTL PREF UNIPERSON	5.919	2,245	2,256	264,091	2099/10/18	
	BPCE SA	4.5	2,000	1,926	225,517	2025/3/15	
	CITIGROUP INC	5.95	2,100	2,073	242,732	2099/8/15	
	CITIGROUP INC	5.95	5,900	5,699	667,087	2099/11/15	
	CITIGROUP INC	5.8	1,300	1,285	150,453	2099/11/15	
	COMMERZBANK AG	8.125	2,100	2,390	279,848	2023/9/19	
	CREDIT AGRICOLE ACAFP	6.637	3,200	3,231	378,256	2099/11/30	
	CREDIT AGRICOLE SA	8.375	4,459	4,936	577,761	2099/10/13	
	CREDIT AGRICOLE SA	8.125	1,650	1,650	193,132	2099/12/23	
	DEUTSCHE BANK AG	4.5	2,600	2,395	280,442	2025/4/1	
	GLEN MEADOW PASS THROUGH	6.505	1,200	948	110,963	2067/2/12	
	GOLDMAN SACHS GROUP INC	5.375	3,400	3,332	390,010	2099/11/10	
	GOLDMAN SACHS GROUP INC	5.7	3,250	3,229	378,034	2099/11/10	
	INTESA SANPAOLO SPA	5.017	2,600	2,527	295,836	2024/6/26	
	JPMORGAN CHASE & CO	5.0	4,200	3,958	463,342	2099/7/1	
	JPMORGAN CHASE & CO	7.9	5,000	5,087	595,491	2099/10/30	
	LBG CAPITAL NO.1 PLC	8.0	2,325	2,427	284,115	2099/12/15	

ABグローバル・ハイブリッド証券ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）

銘柄	柄	当期末					
		利率	額面金額	評価額		償還年月日	
				外貨建金額	邦貨換算金額		
		%	千米ドル	千米ドル	千円		
	ハイブリッド証券等	MORGAN STANLEY	5.45	4,100	3,982	466,107	2099/7/15
		NORTHGROUP PFD CAP CORP	6.378	4,750	4,821	564,327	2099/10/15
		PROGRESSIVE CORP	6.7	3,000	2,985	349,394	2037/6/15
		RABOBANK NEDERLAND	11.0	600	744	87,085	2099/12/31
		ROYAL BK SCOTLND GRP PLC	7.64	5,000	5,212	610,123	2099/9/30
		SOCIETE GENERALE	5.922	2,800	2,826	330,853	2099/10/5
		STANDARD CHARTERED BANK	6.409	5,100	5,088	595,582	2099/7/30
		WELLS FARGO & CO	7.98	3,000	3,135	366,951	2099/9/15
		XL CAPITAL LTD	6.5	4,261	3,131	366,581	2099/10/15
		ZFS FINANCE USA TRUST V	6.5	3,000	3,026	354,222	2037/5/9
小	計					11,222,827	
イギリス				千英ポンド	千英ポンド		
	ハイブリッド証券等	BARCLAYS BANK PLC	14.0	2,650	3,402	567,566	2099/6/15
		BARCLAYS PLC	7.875	2,000	1,952	325,689	2099/12/15
		BNP PARIBAS	5.945	1,000	989	165,110	2099/4/19
		HSBC BNK CAO FND STERLNG	5.862	1,000	1,042	173,909	2099/4/7
		NATIONAL CAPITAL TRUST	5.62	300	311	51,914	2099/12/17
		NATIONWIDE BLDG SOCIETY	6.875	800	788	131,454	2099/12/20
		STANDARD CHARTERED BANK	8.103	1,000	1,012	168,946	2099/5/11
小	計					1,584,591	
合	計					12,807,418	

(注) 邦貨換算金額は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 額面・評価額の単位未満は切り捨て。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

※償還日が「2099年」の証券は永久債であり、永久債には償還日がないため、仮置きの日付けを入れております。

ABグローバル・ハイブリッド証券マザーファンド

「ABグローバル・ハイブリッド証券ファンド（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）」「ABグローバル・ハイブリッド証券ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）」が組入対象とする親投資信託「ABグローバル・ハイブリッド証券マザーファンド」は、第1期決算を2016年7月19日に予定しております。